

指定管理者制度導入施設 管理運営状況(令和4年度)

基本情報						
施設名称 (愛称)	滋賀県醒井養鱒場					
HPアドレス	http://samegai.siga.jp/		(建物外観等)			
電話番号	0749-54-0301					
所在地	米原市上丹生					
設置目的	養鱒についての調査および技術の普及指導を行うほか、養鱒技術の向上と水産業の振興に寄与するため、一般の観覧に供する。(滋賀県醒井養鱒場の設置および管理に関する条例:昭和39年3月31日滋賀県条例第50号)					
所管	部局	農政水産部				
	課等	水産課				
設置年月	昭和39年3月(明治12年現在地に開設)					
土地	敷地面積	190,127.6 m ²	避難所指定等	—		
	市街化区域	市街化調整区域	防災拠点指定等	—		
	用途地域	—	文化財指定	国指定名勝醒井峡谷		
建物	延床面積	2,807.78 m ²	再生エネルギー等	—		
	取得価額	465,743,812円	自家発電設備	有		
運営	運営方法	指定管理	バリアフリー	障害者用エレベーター	無	
	運営時間	8:30~17:00		多目的トイレ	有	
	休館日	12/28~1/4		オストメイト対応トイレ	有	
駐車台数	200台(指定管理者借用地)		車いす使用者用駐車場	2台		
特記事項 指定管理者:滋賀県漁業協同組合連合会						
施設概要						
名称	主体構造	設置年	延床面積	階数	耐震	備考
本館、研修棟	鉄筋コンクリート造	S62	831.05m ²	2	新耐震	
餌付池上屋(A棟)	鉄骨造	S58	160.53m ²	1	新耐震	
餌付池上屋(B棟)	鉄骨造	S58	209.13m ²	1	新耐震	
餌付池上屋(C棟)	鉄骨造	S61	372.46m ²	1	新耐震	
採卵場	鉄骨造	H4	65.8m ²	1	新耐震	
採卵場	木造	S34	18.14m ²	1	旧耐震	
ふ化場	鉄骨造	H13	225.4m ²	2	新耐震	
親魚養成棟	鉄骨造	H14	220.91m ²	1	新耐震	
作業棟	鉄骨造	S63	156m ²	1	新耐震	
倉庫	鉄骨造	S57	38.46m ²	1	新耐震	
車庫棟	鉄骨造	S63	106.8m ²	1	新耐震	
ポンプ室	木造	H10	3.28m ²	1	新耐震	
フォークリフト車庫	鉄骨造	S62	9m ²	1	新耐震	
排水処理室	木造	H10	23.16m ²	1	新耐震	
正面入場券売場	木造	H7	15.5m ²	1	新耐震	
入場券売場(南)	木造	S57	6.9m ²	1	新耐震	
無料休憩所(せせらぎ)	木造	H3	93.75m ²	1	新耐震	
無料休憩所(六角堂)	鉄骨造	S41	132.83m ²	1	旧耐震	
無料休憩所	木造	S55	7.84m ²	1	旧耐震	
無料休憩所	木造	S55	7.29m ²	1	旧耐震	
あずま屋	木造	H29	9m ²	1	新耐震	
つり池管理事務所	木造	H10	29.1m ²	1	新耐震	
便所	コンクリートブロック造	S37	7.99m ²	1	旧耐震	
屋外便所(見学者用)	木造	S62	27.04m ²	1	新耐震	
公衆便所	鉄筋コンクリート造	H3	23.8m ²	1	新耐震	
バス待合所	木造	H10	6.62m ²	1	新耐震	

指定管理者管理運営状況（令和元年度～令和4年度）

指定管理者管理運営状況

年度	指定管理者	指定管理期間
R4年度	滋賀県漁業協同組合連合会	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで 令和3年4月1日から令和8年3月31日まで
R3年度		
R2年度		
R1年度		

成果情報	R1	R2	R3	R4	備考
利用可能日数(単位:日)	339	315	320	355	新型コロナウイルスの感染拡大による開場日の減
年間利用人数(単位:人)	47,100	38,610	33,090	41,592	
1日あたり利用人数(単位:人/日)	139	123	103	117	
年間収入(単位:円)	14,927,676	12,868,828	10,492,572	13,531,820	
1日あたり収入(単位:円/日)	44,034	40,853	32,789	38,118	

収入・支出実績 (単位:円)	R1	R2	R3	R4	備考
収入①	37,830,599	34,828,869	36,174,783	37,655,720	
施設利用収入	14,927,676	12,868,828	10,492,572	13,531,820	
指定管理料	22,902,883	21,960,000	25,423,167	24,123,853	
その他収入	40	41	259,044	47	R3:利息・感染防止支援事業補助金
支出②	46,641,397	38,748,621	39,390,110	44,587,218	
人件費	29,601,601	24,674,551	25,066,287	26,594,593	
施設管理費	3,040,573	1,049,839	965,873	1,919,437	
事業費	13,999,223	13,024,231	13,357,950	16,073,188	
収支 ①-②	-8,810,798	-3,919,752	-3,215,327	-6,931,498	

モニタリング実施状況(令和4年度)

報告書の別	
年度報告	年次事業報告書(令和5年4月報告)
月例報告	月例業務報告書(毎月報告)
実施調査	令和5年1月実施

利用者ニーズの把握

手法・実施時期	令和4年度(4月～3月)
実施内容	来館者へのアンケート調査
調査結果	<ul style="list-style-type: none"> 来場者の34.1%が県外からの来場である。 施設利用満足度5段階の内、満足度5、4、3が96.4%(5、4は85.8%) 施設への来場きっかけの1位が魚釣り、2位が自然とのふれあいであり、良かった施設の1位がエサ釣りコーナー、第2位はさかな焼きである。 {アンケートの声} 子どもが初めての釣りだったが、たくさん釣れて楽しい思い出ができてよかった。 駐車場が遠かった。 ご飯を食べるお店や場所が少なかったので、おにぎりやドリンクなどサイドメニューを充実させてほしい。 子連れが多いので、子ども連れに優しい休憩所があるとさらに良いと思う。

工夫・成果のあった点、運営上の課題

・ビワマスの缶詰や煮付け等の加工品の開発や販売、「びわサーモンフェア」を実施するなど養殖ビワマスの普及に取り組んでいる。

・ます祭り等のイベント開催やマスを活用した多くの自主事業を展開し、HPでの情報発信やチラシ・広報誌による広報に努めている。来場のきっかけの半分近くが魚釣りや食体験であり、釣場事業の運営が来場者の満足度に大いに反映している(コロナ禍前の入場者数に戻つつある)。

・冬季は来場者がほとんどない状況であったが、湧水を生かしたルアー釣り場運営により、冬期にも釣り人が訪れる状況となった。特にルアー釣り大会は人気がある(昨年度より利用者数増)。

・新型コロナウイルス感染症対策としてトイレの改修工事が行われたことにより、利用者がこれまでより快適に過ごすことができるようになった。

・休憩所に厨房施設を設置したことにより、イベント開催時や学校等の団体客利用時に食品(食事)を提供できるようになり、利用者へのサービス向上につながった。一方で、入場者数が増加したこともあり、食事提供に不満を感じているお客様もおられる。

・立地条件から施設と設備の老朽化が進行しやすく、修繕・更新は一定行っているもののすべてに手が回っていない状況にある。

・場内に廃業した民間の店舗が残っているが、経年劣化も進んでおり、来場者から景観を損ねているとの指摘も受けている。所有者と話し合いを行い、撤去いただいたが、一部店舗が残っているため引き続き撤去に向けて取り組んでいく。